



質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
①村田 珠美	1 高齢者の交通事故防止対策について 2 市営バスについて 3 香美市の歌を広げ伝えていこう	⑥森田 雄介	1 地域生活支援事業について 2 臨時・非常勤職員の実態調査を受けて 3 奨学金制度の充実を
②山崎 晃子	1 消防関係について 2 過疎・高齢化に悩む山間地域に関して	⑦山崎 眞幹	1 諸般の報告をめぐって 2 新たな市政要覧をめぐって 3 新図書館・美術館収蔵庫合築建設用地選定をめぐって
③利根 健二	1 交差点の交通安全 2 職員採用資格試験	⑧比与森光俊	1 不妊・不育治療費助成 2 水道事業 3 図書館
④甲藤 邦廣	1 森林組合の合併等について 2 地籍調査について 3 地籍調査に伴う固定資産税について 4 児童クラブの専用施設建設について 5 保育園行政について	⑨濱田百合子	1 社会福祉協議会について 2 「おたふくかぜ」の予防接種について
⑤織田 秀幸	1 いじめ対策 2 災害対応	⑩大岸 眞弓	1 国保税徴収事務と予防医療に関して 2 自衛官募集の勧誘と学校教育について 3 全国学力テスト10年を経過して 4 事業所へのマイナンバー通知は 5 技術系職員の補充は

議会に対するご意見、ご要望は議会事務局までご連絡ください

〒782-8501 高知県香美市土佐山田町宝町1丁目2番1号  
TEL 0887 (53) 1093 / FAX 0887 (53) 3233  
メール gikai@city.kami.lg.jp

# Q 免許自主返納者へ支援を

## A 関係各課と相談



村田珠美 (自由クラブ)

説明を行っている。

**問** 自主返納した後の自治体の支援が必要だが、さらなる支援策はまた、その検討方法を問う。

免許証返納後の高齢者が快適に生活できる社会環境・交通環境について以下問う。

**問** 運転免許の自主返納支援制度の内容と周知は。

岡本博章防災対策課長

**答** 運転免許証返納時に交付された「運転経歴証明書」を買い物等の際に提示すれば、登録店から店舗独自の割引がある。周知は、ホームページへの掲載や高齢者交通安全活動推進員が、訪問時に制度

対策を考えたい。  
**問** 高齢ドライバーの交通事故防止対策として今後の取り組みは。

岡本博章防災対策課長

**答** 記憶力や体力等の衰えを感じた方に対して、南国警察署と連携し、チラシや広報等で運転免許証の自主返納制度に関する啓発を行う。

# Q 香美市の歌をひろげよう

## A ささまざまな場で



子どもたちの歌がCDに

本市の子どもたちが作詞した歌「香美市に生まれて幸せやき！」や交通安全の歌「みんな笑顔で」等の歌がある。

これらの歌を、香美市民誰もが知り、歌えるように、さまざまな場所で活用して広がっている。

**問** この2つの歌に対する見解を問う。

時久恵子教育長

**答** 子どもたちの心がかもった歌である。みんなで大切にしていきたい。

**問** 「香美市に生まれて幸せやき！」の今後の活用は。

**答** 現在、市内のお店等で流していただけるように、子ども会議実

行委員が依頼に行っている。

また、合唱の楽譜が出来上がり、練習を始めていくために、CDに子どもたちの歌と堀内佳さんの歌を入れ、2月上旬には配布ができるように進めている。

今後、さまざまな場で歌っていききたい。

**問** 交通安全の啓発にもなる「みんな笑顔で」を園児に歌わせてはどうか。

**答** 園児が歌うことで

交通安全の意識付けになるし、とても魅力的な啓発活動になるので検討する。

**問** 市の主催するイベントや広報香美などでも啓発を。

**答** 啓発方法は、子ども会議実行委員からいろいろな案が出ている。「お店やイベントで流す」「ホームページで聞けるようにする」「電話の保留音にしたい」など、子どもたちの意見を大切にしながら取り組む。

園児が歌うことで



### Q 水源地・草刈り・通学費に悩み

#### A 検討会など設置



山崎 晃子  
(くらしと福祉を守る会)

の配置も含め、関係部署と協議していきたい。過疎・高齢化によって道草刈り等もできない状況がある。市に連絡しても対応が遅いと聞く。対応手順は。

#### 井上雅之建設課長

山間地域では、山奥の谷等から飲料水を確保しているが、大雨で詰まったり泥水になったりする。高齢化で手当てにも行けない状況があるが、公的支援は。

#### 舟谷益夫物部支所長

台風等襲来後の水源地の点検や枯葉等の撤去、仮復旧を依頼する費用は、現在、補助対象になっていない。補助事業のメニュー改定や水源管理を支援する地域づくり支援員

になり転出していく状況がある。通学費や寮費に対し、一定額の補助等は考えられないか。

#### 山中俊明企画財政課長

本市の将来目標人口を達成するために、中山間地域での子育て、地域の担い手確保等は重要なことだと考えている。

補助制度については、関係する部署による検討会を設置し、検討していく。



物部から高校に通う時、通学費等が重荷

### Q 香北分署の建て替えは

#### A 慎重に審議

香北分署の建て替えが検討されていると聞く。物部町は広い面積の上に急峻な山間地が多い。救急車の到着が今より遅くなることがないようにと願っている。

救急拠点としての規模や機能・建設場所等を聞く。また、検討会での審議内容と、どのような意見が出されたか問う。

#### 寺田潔消防長

香北分署の改築については、市議会、自治会長会、消防防災関係及び学識経験者からなる建設地検討委員会を設置し、検討している。年度内に結論を出し、市長に答申する予定である。



現在の香北分署

建設場所は検討中であり、現段階では答えることができない。規模等は、各種訓練が実施可能な訓練スペース及びヘリポートを併設した施設で、敷地面積2千平方メートル、庁舎は延面積500平方メートル程度を想定している。

建設場所の選定に必要な要件について、それぞれの立場、視点からさまざまな意見が出され、慎重な審議がなされている。

# Q 危ない交差点

## A 必要に応じ適正に



**問** 道路の「停止線」や「生まれ」が消えかかっているところがある。管理・対応は。

**岡本博章** 防災対策課長

**答** 停止線等の道路標示の管理は広範囲に及ぶため、交通安全関係団体や住民からの情報提供により、修復を行っている。

**問** 宝町緑地沿いの道路と市道の交差点に優先道路を設定し、一方に停止線を描けないか。

**答** 現地調査を行い、



宝町緑地公園の交差点

状況写真や位置図等の詳細な資料を添えて、南国警察署を通じ、県公安委員会に必要な対策を要望する。

**問** 住民に、危険と思われる交差点を指摘してもらい「啓発用のマーク」を積極的に使用していつてはどうか。

**答** マークが必要な場

所については、交通安全関係団体や住民からの情報提供を通じて把握に努め、必要に応じて適正な措置を行う。

**問** 小さい子どもの飛び出しが目につく。学校での安全指導に地域住民も巻き込んだ取り組みを。

**横山和彦** 教育振興課長

**答** 交通安全担当部署とも協議して検討したい。

# Q 働きたいと思う職場作りを

## A 研修を実施

昨年に続き、2次試験終了の段階で、技術職や保育士は採用の定員割れを起こしている。働きたいと思う職場づくりが必要である。

**問** 民間企業向けの管理職研修は効果があると思う。検討を。

**山崎泰広** 総務課長

**答** いろいろな研修を受けることは必要だと思う。派遣研修では「うち人づくり広域連合」が行う階層別研修のうち、管理職対象の基本研修に「開かれた職場と心の健康づくり研修」がカリキュラムに入っている。講師は、一般社団法人日本産業カウンセラー協会四国支部の方である。



**問** 保育園の園長には、ワンランク上の課長級の地位を保障した上で、職場環境を適正に管理していただく必要があるのではないか。

**答** 職員の職務は、その複雑、困難及び責任の度に基つき分類されており、園長は本市では班長と同等の職に位置付けられている。

園長は、保育園では最上位の職責をもって職務に当たっており、現行の職で「働きたいと思う職場」づくりに努めてほしい。

# 本会議をライブ中継や録画で見れます

「香美市ホームページ」から「香美市議会」をお選びいただき、「議会中継・傍聴」の「議会中継(外部リンク)」をクリックしてください

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/kami/WebView/>

# Q 森林組合の合併は

## A 財務改善が必須



甲 藤 邦 廣  
(市民クラブ)

平成8年に南国地域合併検討協議会を立ち上げ協議を進めてきたが、結果的に南国国見と香美森林組合が合併し、現在、本市には香美・物部の2森林組合が存在している。以下問う。

**問** 県・森林組合連合会・市が一体となって合併に取り組む必要があると考える。見解は。

佐々木寿幸産業振興課長

**答** 平成18年の合併では3森林組合の内、基本となる財務状況の判断から2組合が先行し



合併した。1組合には『合理化のための合併であり財務改善が必須条件。現時点では合併のメリットが無い』とのことであったが、現在も財務改善には至っていない。まず、当該森林組合の自浄努力による財務改善が必須であり、市が関与すべき事案ではないと考える。

**問** 県が条例検査を実施しているが、これに市が関与できないか。  
**答** 森林組合法における行政庁は都道府県知事とされていることから、市町村は森林組合に対する助言・指導する権限を有しない。  
**問** 市が経営内容について指導できないか。  
**答** 県検査は森林組合法に基づく検査であり、市には森林組合への指導監督権限がないことから、検査への関与はできないものと判断する。

# Q 児童クラブ建設計画は

## A 策定基準に基づき

本市には8つの児童クラブがあるが、いずれも保護者会が指定管理者となっている。専用施設の設置について以下問う。  
**問** 児童クラブ別にその建設年度は。

横山和彦教育振興課長

**答** くじら児童クラブとめだか児童クラブは、30年度からの建設を予定している。その後、たけのこ児童クラブ、うぐいす児童クラブ、かたじ児童クラブ、香長児童クラブという順で考えている。

**問** 建設年度計画の策定基準は。

**答** 施設の建築年度や学校からの距離、施設の面積などを基準に、緊急性の高いものから



かたじ児童クラブ

優先的に計画している。

**問** 建設年度の変更はあるか。あるとすればその判断基準は。

**答** 利用児童数の増加や減少、また、施設の損傷等により危険性が高くなった場合などが考えられる。

**問** 山田小学校は2カ所必要であるとされる

が、設置場所及びその構造について問う。  
**答** 山田小学校内への建設を考えているが、構造は検討中である。



### Q 不登校いじめ対策は

#### A お互いを支えあう仲間意識を



織田 秀幸 (公明党)

昨年年度の県内小中学校で30日以上欠席した不登校の子どもの数が千人当たり全国で最も多かった。

横山和彦教育振興課長

昨年年度の不登校者数は、小学校9名で前年度と同数、中学校23名で前年度より4名減少した。

いじめ件数も前年度からほぼ倍増している。本市の実態は、昨年度のいじめ件



数は、小学校6件、中学校27件であった。

不登校やいじめ、暴力行為は、原因究明の把握なくして改善は図れない。原因や改善策について教育長の見解を問う。

時久恵子教育長

不登校やいじめ対策

策については、学校、家庭、地域の連携はもとより、教育支援員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学習支援員など、多くの支援をいただきながら取り組んでいる。

児童生徒の状況は一人一人異なるので、それぞれの心にしっかりと寄り添って取り組むたい。

互いを支え合う仲間意識の強い学校・学級集団の関わりを最も大事にしたい。

### Q 大規模災害にそなえて

#### A 改修やバリアフリーを検討

南海地震や大規模災害時に多くの避難者を受け入れる体育館において、天井等の非構造部材や窓ガラスの安全対策の現状は。

横山和彦教育振興課長

平成27年度と28年度に点検を実施した。異常が認められた箇所については、耐震改修を進めていきたい。

災害時に高齢者や障害者等、要援護者の円滑な避難生活のため、学校施設のバリアフリー化対応は。

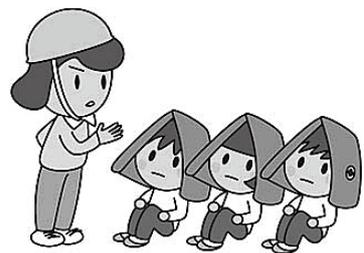
岡本博章防災対策課長

県の補助事業の活用を図り、整備に向けて教育委員会と協議・検討する。

避難所運営で地域の保健師や看護師の協力は不可欠である。行政や自治会主導で女性の協力を募っては。

災害発生時にけが人等に対して迅速な対応を行い、避難所生活を円滑に運営するには、地域の保健師・看護師を事前に把握し、確保することが重要である。

今後は自主防災組織連絡協議会などの場を通じて説明を行い、地域の防災力向上につなげたい。



### Q 障害福祉サービス充実を

#### A 特別支援コーディネーターを増員



森田 雄介 (日本共産党)

西本恭久福祉事務所長

基準額内である。

災害避難情報は個々の障害に応じて伝わるものになっているか。

市ホームページやくらしのガイド、広報香美で周知はしているが、障害に依りての周

障害福祉サービスが国庫負担基準を上回っていないか。

知は検討課題である。  
**問** 巡回支援専門員整備事業は、県の巡回相談もあり、取り組んでいないということだが、事業を充実させるよう取り組みを。

**時久恵子教育長**

**答** 近年支援の必要な園児が全体の1割強に増加していることから、県から特別支援保育コーナーディネーターを配置していただき、園児、保護者、職員の指導、支援に当たってもらっている。大変効果があるので増員したい。

**問** 移動支援事業は社会参加の促進等に必須であり、充実発展を。

**西本恭久福祉事務所長**

**答** サービス利用者は減少傾向であったが、平成27年度は計画どおり増えており、28年度も計画を上回る見込みである。



新改保育園

**Q** 1カ月空白期間解消を  
**A** 他自治体の状況も見て

期間である為は実態・任用理由と矛盾しているのではないかと。  
**山崎泰広総務課長**

「地方公務員の臨時・非常勤職員に関する実態調査」が公開された。本市の回答内容について問う。

**問** 臨時職員の1カ月の空白期間設定理由「業務遂行に必要な日」の1日保育の対応は

**答** 実態調査の回答は事務補助職員のケースに該当するもので、他の職種の場合には必ずしも実態を反映しているものではない。  
**問** 0歳待機児や土曜日の1日保育の対応は

職員不足でできていない。高知市、香南市も空白を解消した。本市も決断しなければ、保育ニーズも空白も埋められないのではないかと。  
**答** 継続任用をいつまで続けるか、年次休暇の付与の取り扱いなど自治体によってまちまちであることや、就職機会の減少、臨時的任用職員としての身分や処遇の固定化など懸念が残ることなどから、現在のところ積極的にこの制度を採用することは考えていない。今後は、他の自治体の運用状況などを見ながら、対応を検討したい。

**法光院晶一市長**

**答** 市に対する行政ニーズは増えている。財源の見通しが不透明な中では、実施は慎重でなければならぬ。だが、子育ては重要な課題であることから十分検討する。

**Q** 新築図書館用地は  
**A** 第一候補地の調査を終了

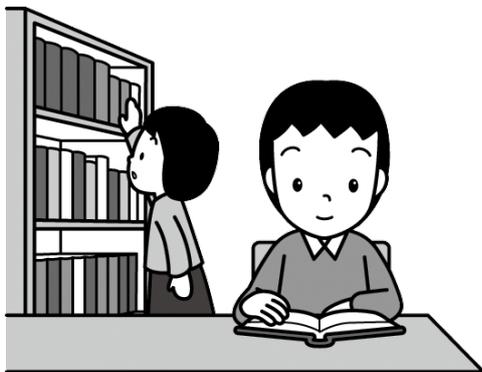


**山崎 眞 幹**  
(市民クラブ)

べきもので、立地場所の選定は、建設後のまの姿や、人の流れをも視野に入れた対応が必要だと考える。

**問** これまでの市長答弁、文化施設等検討委員会の報告書、建設用地検討委員会の選定方針を踏まえた用地選定の進捗を問う。

新図書館・美術館収蔵庫合築は「進化する自然共生文化都市」のシンボルプロジェクトとして位置づけられる



久保和昭生涯学習振興課長

**答** 現在、建設用地検討委員会から用地選定結果の報告を受けた第一候補地について、土地所有者の了解を得て土地用地測量・土質調査・土地の属性情報の各調査を終了したところである。

今後は、用地決定に向けて事業認定申請書作成と土地鑑定評価等の業務を進めていく。

**問** 市長答弁、検討委員会の報告からは、今の美術館、図書館に近く、土佐山田駅の周辺が適地ではないか。

**答** 建設用地検討委員会へ依頼した内容は、選定方針に従い、市街化区域及び隣接する市街化調整区域内の候補地を選定（適地11カ所）、比較検討して、

序列を付けて報告するものである。故に、土佐山田駅周辺の適地も候補地の一つとして検討されている。

**Q** ふるさと納税 積み増し

**A** 返礼品の充実 PR効果

ふるさと納税に関連し、以下問う。

**問** 第7号の補正予算で5千万円が積み増しされている。この要因をどう分析しているのか。

中山繁美定住推進課長

**答** 返礼品事業者の増加及び返礼品数の増加、委託業者である「さとふる」の企業努力、担当職員等の訪問による返礼品の充実、また、広報でもPRし、知名度アップ等が要因と考

えており、当初の予算をはるかに上回る伸びを示している。

また、11月のふるさと納税の寄付金が予想外に伸びており、今議会の最終日に1億円増額の補正予算を計上す



ほっと平山のピザ窯

る予定である。

**問** 本市独自の返礼品として、現地集合で体験型等の導入を再度提案するが、見解は。

**答** 現在は、地域交流施設「ほっと平山」に、ピザ焼きと陶芸体験等をセットにした返礼品を交渉しており、前向きに検討してもらっている。

今後は、龍河洞の冒險コースや塩の道ガイド付ウォーキング等を検討していきたい。

**Q** 不妊治療に助成を

**A** 県助成に上乗せして実施



比与森光俊 (公明党)

高額な治療費は、大きな負担となっている。  
**問** 不妊治療に対する市独自の助成を求め、今後の対応を問う。

前田哲夫健康介護支援課長

不妊で悩む夫婦は少なくない。不妊治療を受けるなど妊娠・出産を目指す活動は妊活と呼ばれ、積極的にサポートする自治体が増加している。それに係る

**答** 一般不妊治療費については、県の補助を受け3万円を限度としての助成を、特定不妊治療費については、県の助成の上乗せとして



10万円を限度としての助成を、平成29年度当初予算へ計上予定である。

**問** 不育治療で悩む夫婦も少なくない。治療費も高額である。助成を求め対応を問う。

**答** 不育治療費については現在考えていない。

**Q** 水道管老朽化に どう対応？

**A** 対策は急務

水道施設は、大半が高度経済成長時に整備され老朽化が進んでいる。水道管の更新は喫緊の課題である。

**問** 本市の法定耐用年数を超える水道管は、どの地域で、どれ程の長さか。

安井幸一環境上下水道課長

**答** 法定耐用年数の40年を超えたものは17.6キロメートルである。地域ご



水道管の修繕

との長さについては資産台帳と管路図面で確認はしているが、当時の情報に不明な箇所もあり、詳細な調査が必要と考える。

**問** ここ数年の間で老朽化に伴う破損事故等は発生していないか。

**答** これまでに老朽管の破損事故は発生していない。

**問** 次の世代に安心の水道網を継承する事は絶対に欠かせない。今後の対応は。

**答** 老朽管対策は急務

であり、中長期的な視点に立って更新計画を策定し、着実な更新投資を行うことが必要と考える。

そのためには水道アセットマネジメントは重要な手法であることから、来年度より「香美市水道事業アセットマネジメント」の策定に向けた取り組みを進めていきたい。

\*アセットマネジメント＝資産を効率よく管理・運用すること

**問** 社会福祉協議会は、合併して正規職員が半減したが、少なすぎるのではないか。

**西本恭久福祉事務所長**

**答** 法人運営に必要な事務職員を正規職員とした。

**問** 社会福祉協議会に委託している事業は。

**答** 福祉事務所、社会福祉事業、福祉教育推進校事業、生活困窮者対策事業、あつたかふれあいセンター事業、健康介護支援課、地域介護予防支援事業、よ

**Q** この体制でよいか社会福祉協議会

**A** 市の財政事情に鑑み



濱田百合子 (日本共産党)

りそい支援事業、家族介護支援事業

**問** 社会福祉協議会の受託事業収入には人件費が含まれている。人件費は別項目が望ましいのでは。

**答** 法人運営に必要な人件費を社会福祉事業費に含ませている。

**問** 正規模職員を増やし、事務局長も非常勤でなく正規にしては。

**答** 介護保険事業以外の事業を、地域福祉の推進のため委託しているもので、補助事業とは異なる。

**問** 他市のように人件費は補助金対応にすべきでは。

**答** 介護保険事業以外の事業を、地域福祉の推進のため委託しているもので、補助事業とは異なる。



プラザ八王子

**問** 市の財政事情に鑑みて検討したい。

**問** 地域福祉の中心となる人材、地域福祉リーダー・コーディネーターの配置を。

**答** 地域福祉計画の重点施策と位置付けているので、社会福祉協議会と協議の上、適任者が配置できるよう努める。

**Q** 「おたふくかせ」接種に支援を

**A** 承認が前提

**問** 「おたふくかせ」の予防接種は任意接種であり、全額自己負担である。厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科会)の審議の経過を問う。

**前田哲夫健康介護支援課長**

**答** おたふくかせワクチンを定期接種として広く接種するに当たっ



ては、より安全性が期待できるワクチンの承認が前提であり、厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科会)で、引き続き検討するワクチンとなっている。

**問** 本市で、対象年齢1歳から7歳未満の人数は。

**答** 1209人である。

**問** 南国市は3千円の公費負担がある。本市も幾らかの公費負担を。

**答** 国が、おたふくかぜワクチンを定期接種として位置付けられない状態で、市単独の公費負担は難しい。

**Q** その差し押さえ妥当か  
**A** 禁止財産はしてない



大岸 眞弓 (日本共産党)

ばならない。

**問** 払う意思を示した場合の換価の猶予や滞納処分の執行停止などに至った例は。

**答** 納税猶予、換価の猶予の対象者は、現在1件もない。

**問** 過去3年間の滞納世帯数、差し押さえ件数、物件の中身、差し押さえ額は。

**答** 平成25年度末世帯数460、差し押さえ延べ件数198、換価金額475万1千円

平成26年度末世帯数326、差し押さえ延べ件数548、換価金額772万1千円

平成27年度末世帯数407、差し押さえ延べ件数391、換価金額367万5千円

差し押さえ物件は、預金、給与、税等の還



税務収納課

**Q** プライバシー侵害・犯罪の恐れ  
**A** 通知できるとなっている

市から事業所への税

通知書に、従業員のマイナンバーを記入して出すと聞く。情報漏えいやプライバシー侵害の恐れがある。犯罪も起きています。以下問う。

**問** 番号記入は義務か。

**答** 番号法によって通知することができるの

で、改正された地方税法の規定に定める個人番号を記載した様式で通知することになっている。

**問** 送付方法は。

**答** 普通郵便もしくは簡易書留での送付を検討している。

**問** 市で一元管理すべきでは。

**答** 個人番号利用事務を実施する際には、不正な利用、盗用に厳格な規定が設けられており、諸法令等に基づき特別徴収義務者に提供する。

付金、保険の解約返戻金等である。

**問** 違法な差し押さえは行っていないか。また、滞納整理と共に困窮世帯への福祉的対応が必要では。

**答** 禁止財産の差し押さえは行っていない。滞納処分により生活状況が分かるので、他課等につなぐ対応をしている。



市民保険課